

事務事業評価表 平成23年度

政策 安全で快適な都市生活の充実  
 施策 交通環境の充実  
 基本事業 克雪による道路環境の整備

事業名 **除排雪事業**

[0277]

部名	建設部	事業開始年度	- 年度	実施計画事業認定	対象
課名	土木事務所	事業終了年度	- 年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	<p>(誰、何に対して事業を行うのか)</p> <p>市道</p>
意図	<p>(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)</p> <p>市民の冬期間における道路交通の確保を図り 行政と住民の連携により快適な住環境をつくる。</p>
	<p>(事務事業の内容、やり方、手段)</p> <p>市が指定する路線等について、10cm以上の降雪や地吹雪があった場合、朝 7時までに歩車道の除雪作業が完了するよう委託業者の除雪車が出動します。また、市の指定する路線について2車線確保が困難な場合や、交差点の見とおし等が悪い場合運搬排雪を実施します。</p>

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	20年度実績	21年度実績	22年度実績	23年度当初
対象指標1	市道総延長	km	827	827	828	827
対象指標2						
活動指標1	除雪延長	km	725	725	726	725
活動指標2	排雪延長	km	121	123	124	123
成果指標1	降雪・吹雪による交通止めとなった箇所数	箇所	0	0	0	0
成果指標2						
単位コスト指標						
事業費計 (A)		千円	556,218	600,744	791,635	602,151
正職員人件費 (B)		千円	20,059	19,915	16,926	17,107
<b>総事業費 (A) + (B)</b>		<b>千円</b>	<b>576,277</b>	<b>620,659</b>	<b>808,561</b>	<b>619,258</b>

費用内訳	
22年度	旅費 52千円、需用費 427千円、委託料 718,712千円、使用料及び賃借料 6,854千円、負担金 補助及び交付金 65,591千円

## 事業を取り巻く環境変化

事業開始背景		事業を取り巻く環境変化	冬期間の交通確保のため実施されているが、生活道路も含めた排雪の充実が叫ばれている。
--------	--	-------------	---

## 22年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

- 義務的事務事業
- 妥当である
- 妥当性が低い

理由・  
根拠は？

道路管理者は、道路を常時良好な状態に保つように維持し、一般交通に支障を及ぼさないように努めなければならない（道路法42条）

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

- 貢献度大きい
- 貢献度ふつう
- 貢献度小さい
- 基礎的事務事業

理由・  
根拠は？

冬期間の交通確保に大きく寄与する。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでていない理由、でていない理由は何ですか？

- あがっている
- どちらかといえばあがっている
- あがらない

理由・  
根拠は？

自治会排雪の充実により生活道路の雪害が減少している。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

- 成果向上余地 大
- 成果向上余地 中
- 成果向上余地 小・なし

理由・  
根拠は？

自治会排雪の区域拡大及び除排雪の充実により成果が向上する。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

- ある
- ない

理由・  
根拠は？

これまでも経費削減の工夫を積み重ねており、これ以上のコスト削減は難しい。